

【コラム4】地方創生に向けた各省の集落等将来ビジョン

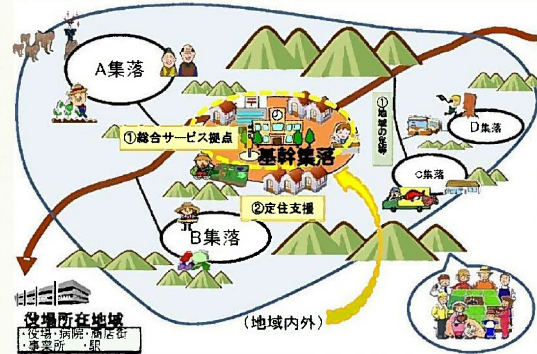
国土交通省・・・小さな拠点づくり

小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて動ける範囲でつなぎ、各集落とコミュニティバスなどで結ぶことで、人々が集い、交流する機会が広がっていく、新しい集落地域の再生を目指す取り組み。



総務省・・・集落ネットワーク圏

基幹集落を中心として、複数の集落で構成される集落ネットワーク圏において「集約」と「ネットワーク化」を図りながら、地域住民が中心となって組織体制を確立しつつ、総合的な活性化プランを策定し、「生活の営み」と「生産の営み」を確保するための取り組み。



農林水産省・・・美しく活力ある農山漁村

農山村の所得を確保し、移住・定住を実現するため、複数集落（小学校区・大字等）の単位で、地域住民の話し合いによって地域の将来ビジョンを作成するとともに、計画的な施設整備や地域を担う組織インフラ等による下支えにより、基幹集落への機能集中と集落間のネットワークの形成を図る取り組み。



文部科学省

- ・地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする
 - ・地方への新しいひとの流れをつくる
 - ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
- これらを実現するため、以下の取り組みを実施。

教育・文化・スポーツを核とした地方創生

- …地方大学など学校を核とした地方創生、文化を起爆剤とする地方創生、スポーツによる地方創生

科学技術による地域活性化・新産業創出

安心な教育環境の整備

- …教育費負担の軽減、地域の核となる活力ある学校づくりへの支援